

図書だより

石川県立松任高等学校図書室
平成26(2014)年3月発行

～山笑う～

だんだん暖かくなってきたかと思えば急に冷え込んだりと、上着に何を着ていこうか毎朝悩む今日この頃です。

さて、3月の季語は“山笑う”です。元は中国の画論『臥遊録』からきているそうで、季節ごとの山の風景の移り変わりを以下のように表しています。

春山淡治（=あっさりとして美しい）にして笑うが如く

夏山蒼翠（=青緑）にして滴るが如し

秋山明淨（=汚れなく清いこと）にして粧うが如し

冬山惨淡（=うす暗いさま）として眠るが如し

(以上、wikipediaより引用。丸カッコ内の単語の意味は『字通』(平凡社)と『大辞林』(三省堂)で調べました。) “淡治”とか“惨淡”など聞きなれない単語も、意味を知ると何となく情景や様子が想像できますね。冬の寒々しい姿から一転、春の淡く優しい色合いに衣替えをしたことを山が喜んで笑っているように思えたのでしょう。

(因みに、この文章から秋と冬の季語である“山粧う”と、“山眠る”も生まれました)。

図書室から見える桜の木立ちも、心なしか枝の先がほんのりピンク色に色づいてきたように見えてきます。

平成25年度も図書館をご愛顧いただきありがとうございました。



話題の映画を本で読もう！

『偉大なる、しゅららぼん』 万城目学／著

琵琶湖畔の街・石走に古くからある旧家・日出家と棗家。この二つの家は「湖の民」として代々受け継がれてきた「力」を巡って、1000年という長きに渡りいがみ合っていた。高校に入学した日出涼介、日出淡十郎、棗広海が偶然同じクラスになった時、力で力を洗う戦いの幕が上がる！

出演：濱田岳、岡田将生、深田恭子、渡辺大ほか

『白ゆき姫殺人事件』 湊かなえ／著

化粧品会社の美人社員が惨殺された不可解な殺人事件。ひょんなことから事件の糸口をつかんだ週刊誌のフリー記者、赤星が独自に調査を始めたところ、被害者の同僚女性の一人が行方不明になっていることを知る。同僚、同級生、家族、故郷の人々。彼女の関係者たちがそれぞれ証言した驚くべき内容とは。

出演：井上真央、綾野剛、菜々緒ほか

上記の2作品以外にも、前作から3年を経て編が上映される『神様のカルテ2』。現在ドラマで放送中の『チーム・バチスタ』シリーズ完結編にあたる『ケルベロスの肖像』。中高生に根強い人気の山田悠介の『パズル』。スタジオジブリのアニメ映画化から25年後の今年、実写版が上映される『魔女の宅急便』。ベルリン国際映画祭で出演者の黒木華が最優秀女優賞を受賞した『小さいおうち』。『ロード・オブ・ザ・リング』の前日譚となる『ホビットの冒険』(映画のタイトルは『ホビット 竜に奪われた王国』)など文学作品を元にした映画がどんどん公開されます。本とはまた違った楽しさ、面白さを発見できると思います。